

2015年 年間日射量 例年に比べ『東多西少』 ～例年に比べると、東北地方で多く、九州南部で少ない傾向～

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、会長：繩野 克彦、以下「日本気象協会」）は、2016年2月29日に、2015年の日本全国の年間日射量（※1）の傾向を発表します。

◇2015年 年間日射量傾向のポイント

【例年比（例年…2005年～2014年）のポイント】

- ・北日本と東日本：「多い」傾向（特に東北地方で「多い」）
- ・西日本：「少ない」傾向（特に九州南部で「少ない」）

【前年比（前年…2014年）のポイント】

- ・北海道と東日本・西日本の太平洋側：「やや少ない」
- ・東北地方と東日本・西日本の日本海側：「前年並」から「やや多い」

日本気象協会は、日照時間から日射量を推定する独自技術により、全国約840地点の日射量をリアルタイムに推定しています。このデータは、「アメダス推定日射量」としてオンラインで提供しているほか、1992年以降のデータを蓄積しデータベース化しています。

「アメダス推定日射量」は、現在の日射量の把握や、過去データを使ったメガソーラー発電事業の事業性評価などで、大手電力各社、新電力各社、太陽光発電事業者にご活用いただいています。

※1 全国にある約840地点の日照時間のアメダス観測値をもとにした推定値。

1. 2015年の年間日射量の傾向

(1) 例年との比較 -『東多西少』の傾向-

2015年の年間日射量は、例年と比べ、北日本（北海道北部を除く）と東日本で「例年並」から「多い」となりました。これらの地域では、4月下旬から5月下旬にかけて晴れの日が多く、7月の日射量も多くなっていました。また、太平洋側の地域を中心に10月の日照時間が記録的に多くなりました。なお、仙台では年間日照時間が観測史上1位を記録するなど、特に東北地方で日照時間が多い傾向がみられました。

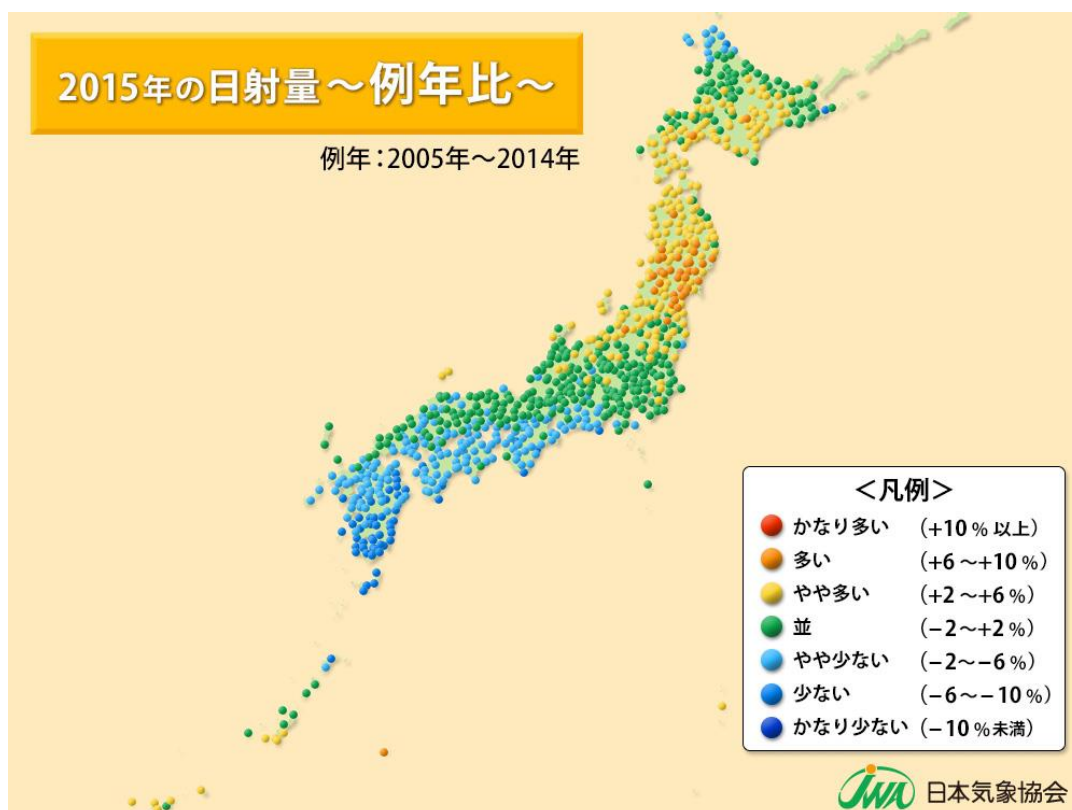
西日本の日射量は、太平洋側を中心に「やや少ない」、九州南部で「少ない」傾向がみられました。これらの地域は、6月と7月に梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多くなりました。また、8月中旬以降には太平洋高気圧の張り出しが弱く、太平洋側を中心に台風の影響も多く受け、日射量も少なくなりました。

沖縄・奄美は、奄美地方北部で「少ない」傾向がみられ、沖縄本島南部～南西諸島で「やや多い」傾向となりました。

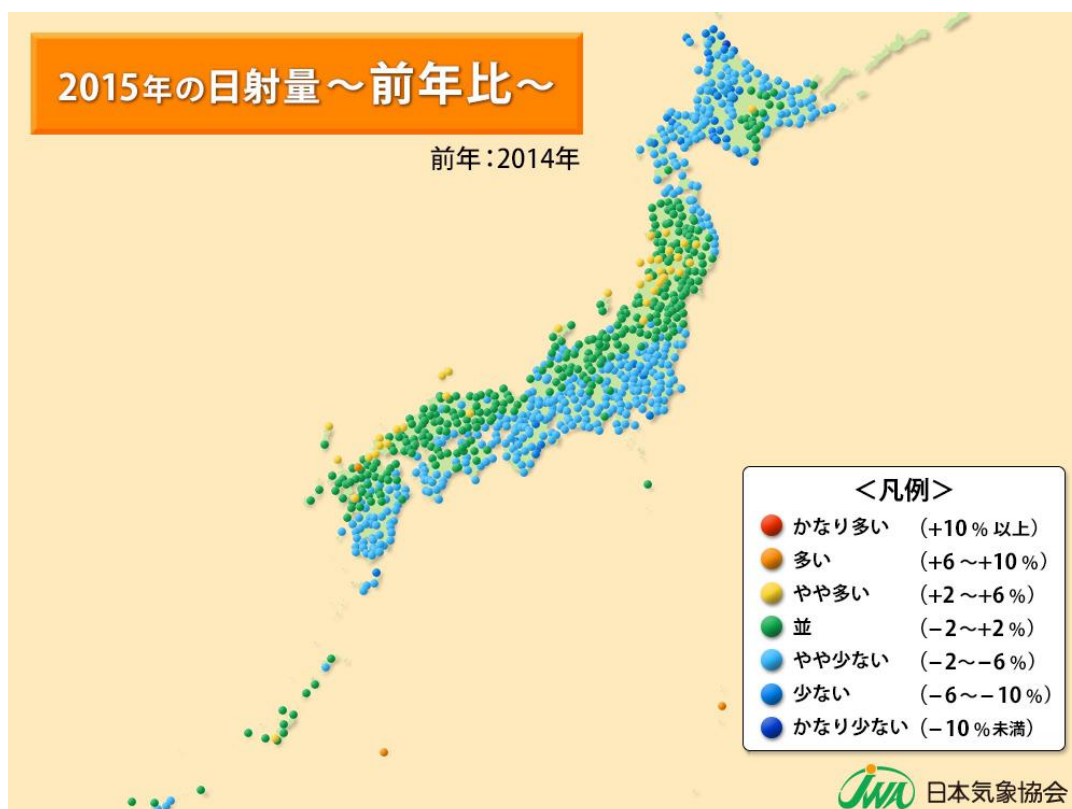
なお、日本全国を大きく[北日本・東日本]と[西日本]に分けて分析したところ、[北日本・東日本]では日射量が多く、[西日本]では少ない傾向がありました。このことを日本気象協会では『東多西少』としました。

(2) 前年(2014年)との比較 - 日本海側で『前年並』、太平洋側で『やや少ない』傾向-

2015年の日射量は、前年（2014年）と比べ、東日本・西日本の日本海側の地点で「前年並」、東北地方で「やや多い」傾向がみられました。このほかの地域は、「やや少ない」傾向となっていました。



2015年の推定日射量（例年比）



2015年の推定日射量（前年比）



表 1 2015 年の日射量の傾向

区分	対象地域	例年との比較	前年との比較
北日本	北海道	北部：やや少ない～例年並	少ない～前年並
		南部：やや多い	
	東北	やや多い～多い	前年並～やや多い
東日本	関東甲信	例年並～やや多い	やや少ない
	北陸		前年並
	東海	やや少ない～例年並	やや少ない
西日本	近畿	やや少ない～例年並	やや少ない～前年並
	中国		前年並～やや多い
	四国	やや少ない	やや少ない～前年並
	九州北部		前年並～やや多い
	九州南部		やや少ない
沖縄・奄美	奄美	少ない～例年並	やや少ない～前年並
	沖縄	例年並～やや多い	

2. 「アメダス推定日射量」について

気象庁による全天日射量の観測は、全国 48 カ所（※2）に限られています。一方、日照時間は、全国約 840 地点のアメダスで観測されています。日本気象協会は、NEDO（※3）の研究事業を通じ、アメダスで観測された日照時間から全天日射量を高精度で推定するモデルを開発しました。

これらの成果を生かし、リアルタイムで日射量（推定値）を提供するとともに、蓄積したデータを用いた日射量の長期的な変動解析などの目的で、電気事業者、太陽光発電事業者に「アメダス推定日射量」をご利用いただいています。

この「アメダス推定日射量」には、リアルタイムの日射量をオンラインで配信する方法と、過去（1992 年～2015 年）の日射量（推定値）データの提供の 2 通りの方法があります。

※2：2016 年 2 月 24 日現在の観測地点数

※3：NEDO・・・国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

【例年と前年について】

例年：過去 10 年（2005～2014 年）の平均値

前年：2014 年の年間日射量

【本資料の比較に関する言葉】

かなり多い：例年（前年）の+10%以上

多い：例年（前年）の+6～+10%

やや多い：例年（前年）の+2～+6%

並：例年（前年）の-2～+2%

やや少ない：例年（前年）の-2～-6%

少ない：例年（前年）の-6～-10%

かなり少ない：例年（前年）の-10%未満

以上